

科目名	音楽と人生 I	形態	講義	開講期	春学期
担当教員	アルバレス・ホセ・サンティアゴ	単位	2	年次	1

＝授業科目の目標＝

音楽分野または関連分野において、社会で活躍する卒業生・教員・著名人による講義をオムニバス形式で行うキャリア支援科目です。大学卒業後、社会において生きていく上で役立つ内容を提供すること主眼に、音楽と人生について考えるきっかけや材料を与えることを目標にします。

＝履修の条件と学習の方法＝

講師および講義の内容は、約1週間前に掲示します。その都度、確認のうえ、受講してください。教室も、その都度、確認のうえ、受講してください。

・開講日 金曜日 第5限目（午後4時20分～午後5時50分）90分

＝授業内容＝

（平成27年度春学期に開講した授業内容）

- 1回 高橋 肇（本学教授・学長） ガイダンス
- 2回 近藤 敬（ホルン奏者・本学楽器室職員） 名人演奏家の人生と演奏
- 3回 松下 雅人（本学学部長・教授・研究科長） 声と人生
- 4回 塚田 良平（音楽プロデューサー・ヴォーカルトレーナー・株式会社コンテツツァ代表取締役） 音楽業界の現在と未来
- 5回 小泉 孝（本学特任教授・教職指導室） 「先生」と呼ばれ続けて42年
- 6回 川井 敏生（本学特任講師・スタジオエンジニア） 「演奏をしない音楽家」
- 7回 露木 薫（本学准教授・ユーフォニアム） 「創造とは？」
- 8回 杵屋 六春（本学講師・長唄三味線） 長唄の家に生まれて
- 9回 高橋 かほる（ピアニスト・仁愛女子高等学校教諭） 「弾く＋歌う＋伝える＝生きる力」
～地方の音楽の現場から～
- 10回 アルバレス・ホセ・サンティアゴ（本学准教授・音楽学） 『音楽に国境在りやなしや』—音楽学者の音楽と人生—
- 11回 猪狩 裕史（本学専任講師・音楽療法） 音楽療法とは：歌の療法的な力を通して考える
- 12回 小林 拓一郎（(株)TDX代表取締役 ZIP-FM ミュージックナビゲーター） バスケ馬鹿からラジオDJへ
- 13回 岡崎 美奈江（本学講師：箏） 「箏」との出会い
- 14回 レポート試験
- 15回 高橋 肇（本学教授・学長） 「音楽と人生」を考える

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席状況および聴講態度などを含めた日常点を含めて評価します。学期末にレポート試験を課します。レポート試験60%、日常点40%で評価します。欠席は総合点全体の40%を上限に減点します。

＝テキスト（必携）＝

特になし